

2018年8月22日

## 代表選挙立候補届出結果に関する公告

国民民主党代表選挙管理委員会  
委員長 小林 正夫

本日午前10時から11時まで、2018年9月の国民民主党代表選挙に対する立候補届出の受付を行った結果、以下の各氏が立候補の届出を行い、代表選挙管理委員会としてこれを受理いたしました。

したがって、これらの各氏を候補者とする代表選挙を実施し、一般党员およびサポーターならびに地方自治体議員による郵便投票、ならびに9月4日に開催される臨時党大会における国会議員および国政選挙の公認候補予定者による直接投票によって、新代表を選出いたします。

### 1. 代表選挙候補者（届出順）

津村 啓介  
玉木 雄一郎

### 2. 公告への添付資料（候補者より提出されたものの写し）

各候補者の略歴・政見・推薦人名簿（一覧表）

# つむら けいすけ 津村 啓介



衆議院議員 当選6回

岡山2区選出 (岡山市東部(旭川より東の地域)、玉野市、瀬戸内市)

1971年(昭和46年)10月27日 岡山県津山市生まれ、46歳

- 1990年3月 麻布高等学校卒業
- 1994年3月 東京大学法学部(政治コース)卒業
- 1994年4月 日本銀行入行
- 2001年9月 オックスフォード大学経営学修士(MBA)
- 2002年6月 民主党衆議院議員選挙候補者公募 合格者全国第1号
- 2003年11月 第43回衆議院選挙 初当選
- 2005年9月 第44回衆議院選挙 2期目の当選
- 2007年1月 世界経済フォーラムより、  
Young Global Leader (世界の若手リーダー - 250人) に選出
- 2009年8月 第45回衆議院選挙 3期目の当選
- 2009年9月 内閣府大臣政務官 (~2010年9月)  
(国家戦略室、経済財政政策、科学技術政策、地域主権担当)
- 2011年1月 与謝野馨内閣府特命担当大臣 補佐 (~2011年9月)  
(社会保障・税一体改革担当)
- 2011年9月 民主党 青年局長 (~2014年9月)
- 2012年12月 第46回衆議院選挙 4期目の当選
- 2014年10月 衆議院 安全保障委員会 筆頭理事
- 2014年12月 第47回衆議院選挙 5期目の当選
- 2016年9月 民進党副幹事長、民進党役員室次長
- 2016年10月 衆議院 国土交通委員会 筆頭理事
- 2017年10月 第48回衆議院選挙 6期目の当選
- 2017年11月 衆議院 予算委員会 理事

【著書】 「国会議員の仕事－職業としての政治」 自民党・林芳正議員との共著

中公新書より(2011/03/25刊行)

【サイト】 <HP> <http://www.tsumura.org/>  
<Twitter> @Tsumura\_Keisuke  
<フェイスブック> [facebook.com/tsumurakeisuke](https://www.facebook.com/tsumurakeisuke)  
[facebook.com/tsumura1027/](https://www.facebook.com/tsumura1027/)

# 日本の進むべき道

衆議院議員 津村 啓介

## ●『東洋のイギリス』を脱して

国家百年の大計を考える時、私はその歴史と地政学的裏付けから、日本は『東洋のイギリス』を目指すべきであると考えてきました。

ともに、国民に愛される歴史ある皇室（王室）を戴き、大陸諸国に先駆けて議会制民主主義と産業革命を成功させ、イギリスは欧州、日本はアジアのリーディング・カントリーとして、ともに世界の発展に貢献し、尊敬を集めてきた国だからです。

人口が減り、経済的にはミドルパワーの老大国となったイギリスが、今も、政治、外交、金融、科学・技術、文化、スポーツの各面で力を持ち、国際社会から尊敬を集めているのは、19世紀から20世紀前半までの経済力・軍事力の国際的優位を、W.チャーチルを始めとする政治リーダーの卓越した指導力によって、政治、外交、金融など、国家の総合的な力（国力）に代えることに成功したからだと言えます。

いま日本では、少子高齢化が世界で最も速いスピードで進んでいます。

その日本が、世界有数の科学・技術力と、健全な議会制民主主義のより良い運用によって「課題」先進国と呼ばれる現状を脱し、政治の強いリーダーシップによって「課題解決」先進国と呼ばれるまでに進化したとき、日本は『東洋のイギリス』を卒業し、全球規模で進んでいく少子高齢化と財政の問題、環境問題といった課題を克服したモデル・カントリーとして、真に「世界から尊敬される日本」になることができるかと確信します。

日本は今こそ、（1）持続可能な安定した経済・財政環境を築き、（2）持続可能な安定した外交・安全保障環境を醸成する中で、（3）世界に卓越した科学・技術力を存分に発揮し、（4）先進国国民としての、新しいライフスタイルを提示しながら、世界の範たる質実剛健な国家に変貌を遂げなければなりません。

その大事な前提は、（5）健全な議会制民主主義が機能すること。つまりは、野党が一つの塊となり、政権担当能力を有することです。

こうした国家観、時代認識に立って、野党随一の政権担当能力を有する国民民主党代表候補として、私は、以下の5つを公約とします。

## (1) ポスト・アベノミクスの経済政策

まず、政権担当能力の重要な要素である、マクロ経済政策です。

アベノミクスが5年続き、少数の富める者がより豊かになる一方で年金生活者や地域の中小企業で働く多くの皆様の暮らしを深刻に脅かしています。今こそ他の野党に先駆け、「ポスト・アベノミクスの新しい経済政策」の実現を提唱します。政権獲得後ただちに政府と日銀との政策協定（アコード）を停止。①インフレ2%目標を撤回し、マイナス金利政策を転換して、金融政策を通常の市場金利操作に戻します。また、少子高齢化社会に正面から向き合い、民主党政権の大きな挑戦であった、②「社会保障と税の一体改革」をバージョンアップします。2012年の改革は借金返済を重視していましたが、私は『みんなの税を、みんなの暮らしのために使う』という理念を基本におきます。放漫財政に終止符を打ち社会保障と財政の持続可能性を高めることは、私たち世代の使命です。③社会を混乱させる消費税軽減税率の導入には反対です。所得の再配分は、別の方法で達成することを目指すべきです。多様な価値観を認め、④幸福度指標を導入して、GDP以外の政策評価軸も増やしていきます。安倍現政権の下で広がった都市と地方の格差を是正し、⑤社会保険料の事業主負担分の助成などの中小企業支援策、⑥戸別所得補償などの農林水産政策に取り組みます。

## (2) 戦後外交の価値を正しく継承した、現実的な外交・安全保障政策

キーワードは、二本の強みを生かした「経済外交」です。

日本は、戦後、WTO、IMF など自由で開かれた国際貿易システムから最も恩恵を受けてきた国です。トランプ政権の国際ルールを無視した外交姿勢には厳しく注文をつけ、①国連などに代表される自由な国際秩序の維持・強化にリーダーシップを発揮していく必要があります。それこそ、サイレント・マジョリティーとも言える多くの国連加盟国が日本に望んでいることです。中国との、これからも永遠に続く地政学的な関係を考えれば、中国との間でも経済外交の深化は必要不可欠であり、②AIIB加盟など検討すべき課題が多くあります。③米国との通商交渉については、トランプ政権の時間軸を注視しつつ、利害得失を国内で十分議論すべきです。

現実的脅威である北朝鮮問題については、米朝会談後も、基本的なリスクは減じていないとの認識です。日朝会談については、④拉致問題の進展が見通せる環境にないかぎり前のめりになるべきでなく、⑤イージス・アショアの配備や⑥データリンクを進め、我が国のミサイル防衛の深化についても議論を深めるべきです。

安倍政権が進める⑦「インド太平洋」構想について、基本的な方向は評価しますが、不十分です。アジアにおける多様な勢力の橋渡しを行い、豪州・インドだけでなく、共通の価値観を抱けるアジア諸国やロシアとのかかわりも重要と考えます。

また、⑧アジアにおけるエネルギー市場の整備を通じ、安定的で競争力あるアジア経済と、エネルギー安全保障を両立させます。

### (3) 科学・技術立国

日本は、今や米国に次いで世界第2位のノーベル賞大国です。この科学・技術力を国内の課題解決、そして世界への貢献に駆使すべきです。「グリーン革命」の起点となるべく、①再生可能エネルギーに関連する研究開発予算を大幅に増額し、世界の新エネルギー政策をリードします。ゲノムコホートの活用などを通じて②予防医学に集中投資し、誰もが健康で長生きできる社会を創ります。科学・技術予算と共に③災害対策の公共事業費を複数年度化し、④新たに「防災省」を設置して、地震・水害対策をスピードアップします。世界的プロジェクトである④次世代大型加速器(国際リニアコライダー)を日本に誘致し、日本を物理学の聖地にします。

### (4) 新しい日本人のライフスタイル — 尊厳死(安楽死)の合法化 —

まもなくポスト平成の新時代を迎えます。安倍政権の国家が個人に優位する価値観を根本的に転換し、個人の多様な生き方を応援したいと思います。女性や障害者の方々の社会進出を後押しします。この数年で、LGBTに対する認識は大きく変わりました。新しい価値観の提示は、社会を大きく変える力を持っています。私からは、①尊厳死(安楽死)の合法化を提案します。また②選択的夫婦別姓、③不妊治療の保険適用拡大、④LGBT関連の法整備も合わせて問題提起します。いずれも日本人の生き方、死生観、家族観を大きく左右するテーマであり、個人のライフスタイルをより多様で豊かにするために、今こそ国がすべきこと、出来ることと思います。「未来先取り政党」国民民主党が、タブーを捨て、今こそ主張すべきテーマです。

### (5) 本気の参議院選挙対策、統一地方選対策

日本に健全な議会制民主主義を取り戻すため、来年夏の参議院選挙での野党勝利に向け、全力を尽くします。野党全体で改選過半数を取ることができなければ、私は即日代表を辞任します。それが私の本気の覚悟です。野党勝利のためには、全ての一人区で「与野党が1対1で戦う構図」を作ることが必須。そのことを常に念頭におき、野党共闘の道を、着実に進みます。

来年の統一地方選挙での必勝のため、従来の公認・推薦料に加えて、選挙対策費を大幅に上積みします。ポスター・名刺・ビラの作成費は100万円を上限に全額補助。地域との絆を一番に考える新しい国民民主党の、本気の統一地方選対策です。

### 最後に

現執行部の「審議拒否しない」「暴力的な抵抗戦術やマスコミを意識したプラカード戦術など非本質的な国会戦術を取らない」という路線を継承し、何でも反対という55年体制型の野党の姿を脱却します。これは玉木共同代表と共通の、国民民主党のこだわりです。

以上

人数	氏名	衆・参議員の別	選管	選管
1	稲富 修二	衆議院議員		
2	大野 元裕	参議院議員		
3	源馬 謙太郎	衆議院議員		
4	小宮山 泰子	衆議院議員		
5	後藤 祐一	衆議院議員		
6	階 猛	衆議院議員		
7	篠原 孝	衆議院議員		
8	長浜 博行	参議院議員		
9	牧 義夫	衆議院議員		
10	山岡 達丸	衆議院議員		
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

人数	氏名	所属議会	選管	選管
1	井野 正臣	登別市議会		
2	佐藤 哲治	秋田市議会		
3	石田 慎吾	品川区議会		
4	望月 利樹	山梨県議会		
5	上杉 知之	新潟県議会		
6	野村 美穂	岐阜県議会		
7	人見 誠	神戸市議会		
8	部谷 翔大	山口市議会		
9	田村 隆彦	土佐市議会		
10	田中 慎介	福岡市議会		
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

# 玉木 雄一郎 (たまき ゆういちろう)

## 衆議院議員 (香川2区)

- 生年月日 昭和44年5月1日生まれ 48歳 酉年 O型
- 出身地 香川県大川郡寒川町 (現さぬき市)
- 家族 祖母、両親、妻、息子
- 座右の銘 一所懸命 念ずれば花開く
- 趣味 カラオケ (十八番は「あずさ2号」、ギター



### 略歴

- 昭和44(1969)年 3人兄弟の長男として、香川県の農村で生まれる。家は兼業農家で、祖父は大川農協組合長。父も経済連に勤務
- 昭和63(1988)年 県立高松高校卒業後、東京大学法学部へ進学。大学では陸上部に所属。十種競技で全日本100傑に入る
- 平成5(1993)年 大蔵省 (現財務省) 入省
- 平成9(1997)年 米国ハーバード大学大学院 (ケネディスクール) 留学。このとき二大政党制の必要性を痛感する。帰国後、外務省に出向。中近東第一課のヨルダン担当として中東和平に尽力。その後、内閣府の秘書専門官として3人の行革大臣に仕えたほか、財務省主計局で三位一体改革を担当
- 平成17(2005)年 投票日1ヶ月前に財務省を退職。第44回衆議院総選挙に香川2区の民主党公認候補として挑戦するも、落選
- 平成21(2009)年 4年間の浪人生活を経て、第45回衆院選に再挑戦し、香川2区で初当選
- 平成24(2012)年 第46回衆院選・香川2区で2期目当選  
民主政策調査会副会長 (2013年1月～14年12月)
- 平成26(2014)年 第47回衆院選・香川2区で3期目当選  
国会対策副委員長 (2014年10月～2016年9月)  
NPO法人万年野党が選ぶ質問王ランキング「三ツ星国会議員」に5回連続選出
- 平成28(2016)年 民進党代表選に出馬  
民進党幹事長代理 (2016年9月～2017年9月)
- 平成29(2017)年 第48回衆院選で4期目当選  
希望の党代表 (2017年11月～2018年5月)
- 平成30(2018)年 国民民主党の結党に参加  
国民民主党共同代表 (2018年5月～)

### 玉木雄一郎とつながる



ホームページ <http://www.tamakinet.jp/>



facebook <https://www.facebook.com/tamakinet55>



twitter @tamakiyuichiro



Instagram yuichiro.tamaki



## ムダとえこひいきを一掃し 「国民の税金を国民のために使う」 政治に変える

玉木雄一郎

年金は減る一方、税金や介護や医療の負担は増える一方  
働く人の賃金も、なかなか上がらず、消費は低迷  
人生100年時代だと言うけど、増えるのは不安ばかり

総理や大臣は、平気でウソつくし  
記録は消えたり、変えられたり、捨てられたり  
役人の記憶までが、都合よく変わる、民主主義の危機

総理は、海外にたくさんお金をバラまくけど  
四島（シマ）も拉致被害者もかえってこない  
税金は外国のためではなく、国民のために使え、それが国民の願い

武器や飛行機をどんどん買って、アメリカに、たくさんのお金を払い  
石油をどんどん輸入して、アラブの産油国に、たくさんのお金を払い  
大企業は働く従業員ではなく、海外の株主に、たくさんのお金を払う

いくら株価は上がっても、生活保護世帯の数は過去最高  
しかも、半数以上が高齢者  
子どもの6人に一人が相対的貧困で、子ども食堂が大はやり

農産物の輸出には熱心だけど、食料自給率は下がる一方  
農家には、人間の食べるコメではなく、家畜の食べるコメ作らせて  
しかも、補助金で米価つり上げ、庶民は高いコメで生活が苦しい

日本の人口減っているのに、東京の人口だけ増える一方  
地方創生って、結局、結果の出ない補助金バラマキ  
海外には、官製ファンドでお金バラまいて、失敗事業が死屍累々

なんか、おかしくないか、今の日本  
みんなの払った税金の使い道を変えよう  
国民の税金が、国民のために使われる国に変えていこう

ウソつきではなく、正直者が報われる  
ふつうの人のくらしが豊かになる  
国民の生活が第一の政治に変えていこう

解決策はこちら！➡

# 「国民の税金を国民のため使う」政治に変え 「生活の安心」と「豊かな地方」を取り戻す

## ①生活の安心をつくる

- ・ 月7万円の最低保障年金で、すべての国民に尊厳ある老後の生活を保障
- ・ 中低所得者層の尊厳ある生活を支える給付付き税額控除の導入(日本版ベーシック・インカム)
- ・ 政府に認知症対策本部を設置し、認知症予防と進行防止に国をあげて取り組む

## ②人をつくる（頭脳への投資が最大の国家戦略）

- ・ 幼児教育の無償化と将来的な3歳からの義務教育化
- ・ 第3子に1000万円給付（または戸建て住宅の現物給付）
- ・ 不妊治療を保険の対象にし、子どもを持ちたくても持てない人を支援
- ・ 保育士の待遇を大幅に改善し、待機児童対策を加速化
- ・ 「人材基本戦略」で、AI人材や介護人材などの過不足を推計し、政策にいかす

## ③豊かな地方をつくる

- ・ 農業者所得補償制度と「GAP加算」制度で、多様な担い手による持続可能な水田政策に
- ・ 地域の起業家に一定期間、生活を保障する「地域起業家ベーシック・インカム制度」
- ・ 地方空港・港湾の整備と民営化でアジアの成長を取り込む
- ・ 自治体ICO（仮想通貨発行）を円滑にするルール整備

## ④新しい生き方をつくる

- ・ 地域の小学校を高齢者に解放し、小学生と高齢者が共に学ぶ「世代共学」へ(廃校の防止)
- ・ 本人同意で最金以下の時給でもマイペースで働ける「高齢者福祉的就労促進労働法制」
- ・ 住み慣れた自宅で、苦しまず尊厳を持って最期を迎えられる在宅緩和医療
- ・ 同性パートナーの権利を認める法整備

## ⑤金融・財政の新しい規律をつくる

- ・ マイナス金利は即座に廃止し、異次元緩和の弊害を除去
- ・ 消費税に代わる目的税の「生活保障税」を創設して、納税の納得感を向上
- ・ 税金につながる経費に公債発行を限定した上で「人的資本形成国債(こども国債)」を創設
- ・ 租税特別措置（租特）の廃止など大胆な税制の簡素化

## ⑥落ち着いた憲法議論ができる土壌をつくる

- ・ 「熟議なくして、憲法改正なし」
- ・ 国と地方の関係（第8章）と参議院のあり方見直し（合区解消の抜本策）
- ・ 統治機構改革～立法立行政の関係の見直し（解散権、臨時国会の開会条件）
- ・ 同性婚時代への対応（24条1項の「両性」の見直し等）
- ・ AI時代の「忘れられる権利」

### ⑦現実的外交・安全保障で、日本と地域の平和をつくる

- ・ 領域警備法など「近くは現実的に遠くは抑制的に」の原則に基づく法制を整備
- ・ 米軍機が墜落しても調査・捜査さえできない現状を変えるため、日米地位協定を改定
- ・ 米国に追従するような外交・安全保障政策を見直す
- ・ 日米FTAは認めない

### ⑧エネルギー新時代をつくる

- ・ 「2030年代原発ゼロ」に向けたスケジュールを具体化
- ・ 農地に関する規制緩和でソーラー・シェアリングを推進し、持続可能な農業を積極支援
- ・ デジタルグリッドを実現し、再生可能エネルギーの効率的融通を可能に

### ⑨世界一のデジタル・エコノミーをつくる

- ・ 法定通貨「円」の電子通貨化
- ・ 納税を含むすべての行政手続きが、スマホ一つでできる世界一の電子国家をつくる
- ・ 中小企業だけでなく自治体やNPOも使えるAI投資を促進する補助制度を創設
- ・ セーフティーネットを充実させた上で、経済的規制を原則撤廃

### ⑩正直で開かれた政府（オープンガバメント）をつくる

- ・ 公文書のオンライン永久保存とバックアップの義務づけ
- ・ 客観的に将来推計を行う独立財政機関（IFI）「経済財政企画庁」の創設
- ・ 「課題解決型入札」を導入。民間の力を社会問題の解決に活用し、行政の効率化を実現
- ・ 国政選挙のスマホ投票

### ⑪安心できる国土をつくる

- ・ 復興庁を改組して「防災省」を創設し、省庁縦割りを超えた平時からの防災対策
- ・ 発生確率や想定被害規模の分析に基づく「防災会計」の導入
- ・ 国家資格で森林管理士、水田管理士、離島管理士を創設し国土を保全

## 党運営改革スタート・ダッシュ プラン

- ・ 広報・プロモーションのプロを採用し、年内に集中的に支持率向上をはかる
- ・ 「SNS対策本部」を設置し、各級議員のSNS発信やネガティブ対策を支援
- ・ バーチャル・シンクタンクを創設し、外部の力を生かす政策づくり・ネットワークづくり
- ・ 政党として新たな仮想通貨（トークン）を発行し、若い新たな支持層を開拓
- ・ 女性限定の公募を行うなど、候補者30%を目標とし、女性政治家の発掘、当選支援を強化

上記方針の実現に協力を求め、他党や会派に、共同選対や統一会派を呼びかける

人数	氏名	衆・参議員の別	選管	選管
1	青山 大人	衆議院		
2	浅野 哲	衆議院		
3	泉 健太	衆議院		
4	小熊 慎司	衆議院		
5	近藤 和也	衆議院		
6	白石 洋一	衆議院		
7	西岡 秀子	衆議院		
8	原口 一博	衆議院		
9	平野 博文	衆議院		
10	古本伸一郎	衆議院		
11	森田 俊和	衆議院		
12	礪崎 哲史	参議院		
13	伊藤 孝恵	参議院		
14	大塚 耕平	参議院		
15	川合 孝典	参議院		
16	櫻井 充	参議院		
17	榛葉賀津也	参議院		
18	浜野 喜史	参議院		
19	矢田わか子	参議院		
20	柳田 稔	参議院		
21	以下余白			
22				
23				
24				
25				

人数	氏名	所属議会	選管	選管
1	千葉 智人	根室市議会		
2	三浦 博司	八戸市議会		
3	布田 一民	岩沼市議会		
4	宮下 雅志	福島県議会		
5	斉藤 孝明	栃木県議会		
6	海老原直矢	上尾市議会		
7	田畑 直子	千葉市議会		
8	曾我部久美子	神奈川県議会		
9	長友 克洋	神奈川県議会		
10	吉田 要	江東区議会		
11	岡本 護	静岡県議会		
12	日比 美咲	名古屋市議会		
13	松本 順一	寝屋川市議会		
14	平岩 征樹	貝塚市議会		
15	向山 好一	兵庫県議会		
16	藤野 良次	奈良県議会		
17	柏木 岳	那賀町議会		
18	長尾 和明	高知市議会		
19	白石 一裕	北九州市議会		
20	深堀 浩	長崎県議会		
21	以下余白			
22				
23				
24				
25				